



改善措置の実施状況につきまして（概要）

2005年7月20日(水)

株式会社 日本航空

改善措置の実施状況につきまして（概要）

- 全社一丸となった安全意識改善への取り組み
- ヒューマン・エラー防止のための手順、マニュアルの見直し、遵守の徹底
- 安全組織体制の強化
- その他

1 . 全社一丸となった安全意識改善への取り組み

「緊急安全ミーティング」の開催による安全啓発（4月～5月）
社長、役員参加で220回。全国内海外支店で開催

「安全ミーティング」開催の継続（6月～）
社長、役員参加。2005年度は、部門毎で延べ約210回実施の予定

「安全に係わる行動規範」の唱和継続
業務前打合せ、役員会他会議時に全員で唱和

「安全啓発会議」の開催（4月～5月）
全社及びグループ航空会社管理職を対象に618回、約3,300名受講

「法令・規定類の意義、背景等の再教育の実施」（4月～5月）
運航本部、整備本部及び整備グループ会社、客室本部、空港部門全社員を対象に実施

「緊急安全ミーティング・フォローアップ検討委員会」の設置（6月）
新町を委員長とし、4月以降のミーティングで社員から出された意見・
要望を精査し、結果を7月末に全社員に通知予定

2 . ヒューマン・エラー防止のための手順、マニュアルの見直し、遵守の徹底

- 実業務点検 (4月～)
運航乗務員・客室乗務員は実機における業務点検実施
整備部門における作業品質点検を実施
- 全本部での一斉安全総点検 (3月～4月)
特に客室本部においては、本期間中に全便に対して、
ドアモード変更プロシジャールについて口頭確認を実施した。
- 安全に係わる全ての部門で手順・マニュアルの見直し
(5月～12月) 分かりやすく、使いやすいマニュアルの作成

3 . 安全組織体制の強化

- 安全対策本部会の新設（3月～）
安全情報の共有と対応策の決定 既に20回実施
- 社長直属「安全補佐」の新設（4月～）
3名体制による安全情報の収集、トップへの報告
- 一体化した総合安全推進委員会の開催（4月～）
グループ全体としての均質・高度な安全確認の推進

4 . その他

- 経営トップと現場の双方向コミュニケーション強化
緊急安全ミーティング、安全ミーティングを核とした
双方向コミュニケーションの継続
- 社内報、イントラネットを通じたトップメッセージの発信
Corporate Safety、SORA Weekly、イントラネットを利用

緊急安全ミーティング・フォローアップ体制

安全対策本部会

緊急安全ミーティング・フォローアップ検討委員会

- ・ 委員長： 社長
- ・ 副委員長： 副社長
- ・ メンバー： 安全対策本部会メンバー
+ ヒューマンリソース担当役員
- ・ 事務局： 総合安全推進室